



「字」を書く 圧巻のパフォーマンス

CLOSE UP
大村人

はかまに地下足袋、肩からタスキを掛けた姿で、字書きパフォーマンスを披露するのは、「字書屋」こと、書道家の佐藤鳳水（本名・輝政）さん。「花菖蒲まつり」（6月7日）では、縦1.5メートル、横5メートルの大きな紙に字を書き、圧巻のパフォーマンスで多くの観客を魅了しました。今はさまざまなおイベントに引っ張りだこです。

転職は6年前。体調を崩し自動車関係の会社を退社した翌年、筆ペン字の教室を開業しました。5歳ぐらいから書道を始めた佐藤さんは、ずっと習字の先生に憧れていたそう。現代書家の影響も受け、独自の表現を磨き上げてきました。

ある時、知人に頼まれて披露した字書きパフォーマンスがとても好評で、それ以来、各種イベントに招かれるようになったそうです。今では、イベントや式典だけでなく、結婚式、市内外の小学校行事などにも呼ばれるようになり、活動の幅が広がっています。「初めて見る人の表情が新鮮です。書は無心になれて、書き終えると達成感があります。課題は体力をつけることです（笑）」と、ユーモアに語ります。「パソコンが普及して字を書かない人が増えています。このパフォーマンスを見て少しでも手書きの字に親しんでほしい。」と佐藤さん。今後の夢は、「まずは日本各地で、その後は海外で字書きパフォーマンスをすることです。」と、照れくさそうに語ってくれました。



Profile

さとう・ほうすい
昭和56年8月17日生まれ
筆ペン字教室講師。
字書屋歴5年。
筆ペン字教室の傍ら、字書きを主な活動とする。字書きパフォーマンスや多彩なアーティストとのコラボ企画など、九州のさまざまなイベントに携わる。書の枠にとらわれない作品づくりに力を注ぐ。
大村市在住。33歳。

字書屋(じかきや)

佐藤 鳳水さん



クローズアップ

大村人

vol.8

.....
このコーナーは、ふるさとを思いながら、市内外で活躍する大村人、を紹介していきます。